

(別添)

2019年5月23日

N I T E (ナイト)

独立行政法人製品評価技術基盤機構

中 部 支 所

# News Release

## ガスこんろの事故に注意 ～火災事故に潜むヒューマンエラー～ ～ 東海4県版 ～

NITE (ナイト) に通知されたガスこんろの重大製品事故情報<sup>※1</sup>は、2013年度から2018年度までの6年間に東海地方4県(静岡県、愛知県、岐阜県及び三重県)では35件<sup>※2</sup>あり、そのうち人的被害(重傷、軽傷)は9件(26%)ありました。

特に、使用中にその場を離れたり、汚れを放置したりすることが原因で事故が発生しています。ガスこんろの事故は火災事故に至る可能性が高く、周囲に被害が及びます。事故の事例や事故防止のためのポイントを確認し、事故を未然に防止しましょう。

### 1. ガスこんろの重大製品事故発生状況

#### (1) 各県の年度別 事故発生件数

表1にガスこんろの重大製品事故の「県別」及び「年度別」の事故発生件数を示します。

表1 「県別」及び「年度別」の事故発生件数(単位:件)<sup>※3</sup>

年 度	静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	合 計
2013 年度	4 (4)	2 (2)	0	2 (2)	8 (8)
2014 年度	2 (2)	4 (3)	0	0	6 (5)
2015 年度	2 (2)	1 (1)	0	1 (1)	4 (4)
2016 年度	1 (1)	1 (1)	4 (4)	0	6 (6)
2017 年度	4 (4)	0	0	2 (2)	6 (6)
2018 年度	0	4 (4)	1 (1)	0	5 (5)
合 計	13 (13)	12 (11)	5 (5)	5 (5)	35 (34)

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故情報。

(※2) 2019年4月30日現在、対象外情報を除いた事故発生件数。

(※3) ( )は、火災件数。

**(2) 各県の被害状況<sup>※4</sup>別 事故発生件数**

表2にガスこんろの重大製品事故の「県別」及び「被害状況別」の事故発生件数を示します。

表2 「県別」及び「被害状況別」の事故発生件数（単位：件）

被害状況 <sup>※4</sup>		静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	合計
人的被害	死亡	0	0	0	0	0
	重傷	1 (1)	2 (1)	0	0	3 (2)
	軽傷	1 (1)	2 (2)	2 (2)	1 (1)	6 (6)
物的被害	拡大被害	9 (9)	7 (7)	2 (2)	4 (4)	22 (22)
	製品破損	2 (2)	1 (1)	1 (1)	0	4 (4)
被害なし		0	0	0	0	0
合計		13 (13)	12 (11)	5 (5)	5 (5)	35 (34)

(※4) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

**(3) 誤使用や不注意などによる事故の発生状況別及び被害状況別 事故発生件数**

表3にガスこんろの誤使用や不注意などによる重大製品事故 16 件（46 %）の「事故の発生状況別」及び「被害状況別」の事故発生件数を示します。

表3 「事故の発生状況別」及び「被害状況別」の事故発生件数（単位：件）

事故の発生状況\被害状況別	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損	総計
こんろの周囲に燃えやすいものを置いていたため発火	0	2 (2)	3 (3)	0	5 (5)
グリルの消し忘れや放置により庫内の食材などが過熱し発火	0	1 (1)	2 (2)	0	3 (3)
調理油が過熱し発火	0	0	3 (3)	0	3 (3)
グリル庫内の油脂や食品かすなどが発火	0	0	0	1 (1)	1 (1)
その他	1	0	2 (2)	1 (1)	4 (3)
総計	1	3 (3)	10 (10)	2 (2)	16 (15)

## 2. ガスこんろによる重大製品事故の事故事例

### (1) こんろの周囲に燃えやすいものを置いていたため発火

2016年6月（岐阜県、70歳代・女性、軽傷）

#### 【事故内容】

ガスこんろ及び周辺を焼損する火災が発生し、1名が負傷した。

#### 【事故原因】

ガスこんろに片手鍋を載せ、湯沸かし中に長時間その場を離れたため、近くにあった可燃物が加熱されて発火し、出火に至ったものと推定される。

なお、取扱説明書には、「火を付けたまま機器から絶対に離れない。」、「機器の上や周囲には可燃物を置かない。」旨、記載されている。

### (2) 調理油が過熱し発火（安全装置無）

2013年12月（静岡県、60歳代・男性、拡大被害）

#### 【事故内容】

ガスこんろ及び周辺を焼損する火災が発生した。

#### 【事故原因】

ガスこんろで調理油を加熱し、火をつけたままその場を離れたため、調理油が過熱して発火し、火災に至ったものと推定される。

なお、取扱説明書には、「火をつけたまま機器から離れない。」旨、記載されている。

### (3) その他

2014年4月（愛知県、30歳代・女性、重傷）

#### 【事故内容】

ガスこんろで揚げ物を調理中、フライパンが落下し、やけどを負った。

#### 【事故原因】

ガスこんろに変形等の異常が認められないことから、フライパンをごとくの中央から大きくずれた位置に置き、フライパンの取っ手を持たずに菜箸で調理物をかき混ぜていたため、菜箸がフライパンの底に触れた際にバランスが崩れて落下し、油があふれてやけどを負ったものと推定される。

なお、取扱説明書には、「底が滑りやすい鍋などは不安定な状態で使用せず、必ず取っ手を持って調理する」、「フライパンなどの重心が片寄ったなべは、取っ手を持って使用する」旨、記載されている。

### 3. ガスこんろの重大製品事故の実験映像について

ガスこんろの重大製品事故の実験映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

#### ■映像の提供について

提供する映像へのクレジットは「製品評価技術基盤機構+nite ロゴ」としてください。

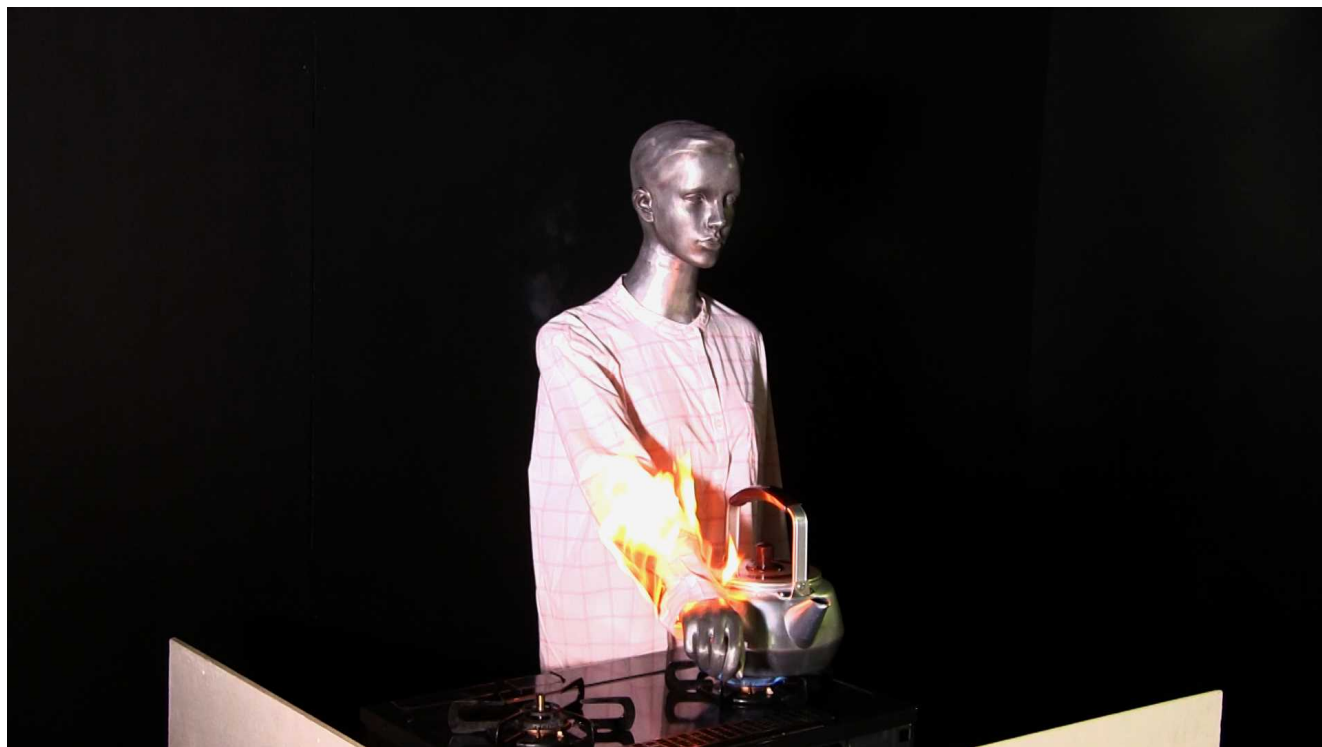


写真 静止画例

(本件に関するお問い合わせ先)

〒460-0001 名古屋市中区三の丸2-5-1 名古屋合同庁舎第2号館

独立行政法人製品評価技術基盤機構 中部支所

支所長 葛谷 弘之

担当者：技術課 酒井、横田、齋藤

電話：052-951-1933 FAX：052-951-3902

以上